

国連アカデミック・インパクト ニュースレター

2011 年 4 月 27 日号



「知と学び」の社会的責任を
分かち合おう

<http://academicimpact.org/>
<http://www.facebook.com/ImpactUN>

UNAI の仲間の皆さんへ、

2 週間ほど前に発行したニュースレター創刊号は皆さんに歓迎され、事務局に早速、新規イベントの告知依頼が続々と届くようになりました。今後のイベント開催予定欄に掲載してありますのでご覧ください。

国際的な取り組みとして初めて実施した e- ディスカッション・シリーズも好評です。UNAI は、国連経済社会理事会 (ECOSOC) 年次閣僚級レビューのグローバル準備会合 (4 月 28 日木曜日) において、Facebook 上で「今の若者のために未来を創る：教育機会の向上」と題した e- ディスカッションを行いました。

UNAI チームは、このプロジェクトのモデレーターおよび報告担当を務めたイヴェス・ヤネス、ヤラ・ヒラル・ジュルディ、ジュリアン・メイ、ラメシュ・ポカレル、レカ・ダッタの尽力に心から感謝します。

このニュースレターでは、国連経済社会局 (DESA) と共同で実施する学生ビデオキャンペーンについて紹介しますので、是非お読み下さい。

また、引き続き皆様の意見や提案を academicimpact@un.org までお送り下さい。

ラム・ダモダラン
ナタリー・ルロワ
ヴィカス・シャルマ

インターン：チェン・チーチュン、ロビン・キエラ、ルイス・ルーレス

UNAI e- ディスカッション・シリーズ 2011 年 2 月 16 日～3 月 15 日

報告担当者：

- ・レカ・ダッタ (モンマス大学、米国)

モデレーター：

- ・イヴェス・ヤネス (エクアドル・ハベリアーナ工科大学、エクアドル)
- ・ヤラ・ヒラル・ジュルディ (ビジネス科学現代大学 (MUBS)、レバノン)
- ・ジュリアン・メイ (クワズルー・ナタール大学、南アフリカ)
- ・ラメシュ・ポカレル (九州大学、日本)

e- ディスカッション・シリーズは UNAI の Facebook 上で開催されました。各ディスカッションは 1 週間にわたりオンラインで行われ、ディスカッション毎にモデレーターがレポートを提出し、報告担当者が各レポートをまとめてグローバルレポートを作成しました。

この e- ディスカッション・シリーズの成果は、4 月 28 日の経済社会理事会 (ECOSOC) 年次閣僚級レビューのグローバル準備会合で議論されることになっています。当日は、まず報告者が全体プレゼンテーションを行い、その後各モデレーターが加わって ECOSOC メンバーとテレビ会議を行います。グローバルレポートで示された政策提言は、事務総長報告書に記され、ECOSOC に対して報告される予定です。

グローバルレポートは政策提言について以下のように要約しています：「ディスカッションの結果、教育の「量」だけでなく、「質」の向上に資金が確実に使われるようにするには、教育政策が、学校により厳しい基準を設けるべきであるという結論に達した。同時に、状況や問題が地域によって異なるため、地域格差、リソースと人的資源の制約および各国・社会各階層・地域のニーズと現実を西洋的な教育体制に適合させる必要性の程度により、標準モデルが最適な解決策とはならないことに合意した。このようなことから、様々な教育政策の枠組みで利用でき、現地のニーズに基づいたモデルを開発することが必要である」。

「皆さんはまもなく、明日のリーダーとなります。世界のリーダー、明日の世界市民として、自分が貢献できることは何かを考え、その準備をして下さい。皆さんはこの地球社会の市民として、一人ひとりが力を合わせ、相互に関連し合うすべての問題の解決に取り組まなければなりません。どうか、より幅広い考え方をもち…地球市民としての誇りを持つよう努めてください」。潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長から学生たちへのメッセージ (2011 年 4 月 21 日)

国連本部の UNAI イベント

「事実を正しく把握する」

2011年5月4日水曜日午後3時

国連年鑑の2007年度版の出版を記念して、パネルディスカッションを開催します。またイベントでは初めて出版するe-ブック（電子書籍）版も披露します。パネリストは2007年の主な出来事を振り返り、現在への教訓を引き出していきます。

「文学は変革をもたらすことができるか？」

2011年5月5日木曜日午後3時

4人の著名な作家が議論します。このシンポジウムは「不寛容の根絶」シリーズの一部として、映画製作者のミュリエル・ピーターズの司会で開催されるものです。

ジョン・ブレンダーガストとフランシス・デンと共にジェノサイド防止について議論する

2011年5月20日金曜日、午前10時～午後4時

午前の部（午前10時～午後12時）：「イナフ・プロジェクト」の創設者であり、著名な人権活動家であるジョン・ブレンダーガスト氏と、国連ジェノサイド防止特別顧問を務めるフランシス・デン氏が、一般市民を対象に法律・政治・社会・人権の観点からジェノサイド防止について議論します。

午後の部（午後12時～午後2時）：ホロコースト財団、国連広報局アウトリーチプログラムおよび NGO 団体「歴史と私たち自身に向き合う」(NGO) の共催で、教育関係者のためのワークショップを行います。

本イベントは、ナチス時代のドイツを例に挙げながら、私たち一人ひとりが人権侵害に立ち向かう責任について啓発するものです。教育関係者は、生徒たちが自らの行為・行動を振り返り、人権の擁護者となるよう積極的に働きかける方法について議論します。

開催場所：国連本部ノース・ローンビル、第2会議室。参加登録に関するお問い合わせは以下まで：

Holocaustremembrance@un.org



UNAIと国連経済社会局は、**学生ビデオキャンペーン「すべての人に教育を」**を共催します。このイベントはFacebook上で実施する予定です。

「すべての人に教育の機会を」をテーマに2分間のビデオ作品を制作してください。世界中の学生の皆さんの応募をお待ちしています。専門家パネルによって最優秀作品に選出されたビデオは、国連経済社会理事会が2011年7月にジュネーブで開催する教育に関するハイレベル会合の冒頭で上映される予定です。作品応募の締め切りは2011年5月15日です。

詳しい応募方法は以下のサイトをご覧ください：

http://www.facebook.com/note.php?note_id=211026802258393

UNAI、ウィキペディアに登場

「『知と学び』の社会的責任を分かち合おう」のスローガンを実行するため、UNAI はウィキペディア上で UNAI に関する正確な情報を記事にして公開しました。英語以外の国連公用語への翻訳は近日中に行う予定です。英語版は以下のサイトでご覧になれます。

http://en.wikipedia.org/wiki/United_Nations_Academic_Impact



参加機関によるイベント開催予定

- 2011年5月4日午後6時半よりニューヨークのジョン・カランドラ研究所で、**プーリア・センター・オブ・アメリカによる「アメリカにおけるイタリア優秀賞」**授与式が行われます。
- 社会的有用性のための非営利組織（Onlus）に関するペガサス欧州研究所は、ヨーロッパ・デーの2011年5月9日にローマで「**ミレニアム目標達成に向けて：2020年のヨーロッパ**」と題したイベントを行います。
- 中華職業学校（NAVEC）は、2011年5月10日・11日に上海で**職業教育に関する国際フォーラム**を開催します。2日間にわたるプログラムでは、教育専門家・大学・国際教育機関・企業およびその他のパートナー間で、職業教育分野での交流・協力を推進し、創造的な思考を促進するため、公式フォーラムと非公式の対話型ディスカッションを行います。カナダ・中国・フランス・ドイツ・日本・韓国・英国・米国から400名までの参加を見込んでいます。
- ユネスコ・ヨーロッパ高等教育センター（CEPES）、ルチアン・ブラガ大学（シビウ、ルーマニア）、ルチアン・ブラガ大学ユネスコ・チェア・プログラム「**高等教育と生涯学習の質管理**」は、2011年5月19日から21日に「**卒業後の進路について：高等教育における新卒採用の役割とカリキュラム開発および質向上のための追跡システム**」に関する国際会議を行います（シビウ、ルーマニア）。以下のサイトをご覧ください。
<http://conferences.ulbsibiu.ro/unescocepes/en/>

- キングス・カレッジ（ウィルクス・バリ、ペンシルバニア州、米国）の心理学部は、4月18日に開催した UNAI テレビ会議のフォローアップとして、「**世界のストレスと健康**」に関する**ブログ**を開設しました。以下のサイトで公開しています。
globalstresshealth.blogspot.com



国連アカデミック・インパクトの Facebook ページ (www.facebook.com/ImpactUN) にも最新情報を定期的に投稿していますので是非ご覧ください。あなたも「友だち」になって、あなたの Facebook ページで UNAI のことを紹介してください。